

在外公館長表彰受賞者

(2012年1月～3月)

メフディザーデ・ソレイマン氏

- 受賞日：1月26日（木）
- プロフィール：『神武館』経営。剣道4段，沖縄空手7段，居合道8段を有しており，日本武道の専門家。
- 受賞事由：
当地において剣道・空手等を指導する道場を開き，日本武道の当地普及に大きな貢献をした。また，過去の日本語弁論大会を始め，当館主催の各種イベントで日本武道の演武を披露。



モハンマド・ハザイ氏

- 受賞日：1月26日（木）
- プロフィール：細密画家



• 受賞事由：

愛知万博を始め、日本での各種展示イベントへの出品等により、イランの伝統絵画の日本での普及に貢献。

2012年の当館主催文化イベント“日本文化週間”では、群炎美術協会（東京美術館所属）関係者を当国に招聘及びその作品を展示す

るために尽力し、テヘラン及び本イベント初開催となるイスファハンでの開催に多大な貢献があった。

アスギヤリ・パシヤイ氏

- 受賞日：1月31日（火）
- プロフィール：宗教大学講師，日本仏教，神道及び禅研究の当地第一人者
- 受賞事由：

仏教，神道及び禅などの日本の精神性に関する書籍，30冊近くをペルシャ語に翻訳，当地の日本理解の促進に尽力。当館広報文化センターの事業にも積極的な協力があった。



パリュシュ・ギャンジー女史

- 受賞日：1月31日（火）
- プロフィール：元国際交流基金アドバイザー，元テヘラン現代美術館学芸員

- 受賞事由：

2006年から10年まで国際交流基金アドバイザーを務め，日イラン文化関係強化のための有益な提案を多数実施。多くの当地芸術家と当館広報文化センターを繋ぎ，当館文化事業の多くを成功に導く。



マヌチェフル・アズィズィ氏



- 受賞日：1月31日（火）
- プロフィール：折り紙講師
- 受賞事由：

イスファハン市にて15年以上、折り紙講師として活動し、当地における折り紙の普及に貢献。これまでも当館文化事業にも積極的な貢献があったが、特に2012年の“日本文化週間”で開催した折り紙のワークショップは大盛況を博した。

モフセン・マナフィ氏



(マナフィ氏, アミニ・イラン柔道連盟会長, 駒野大使)

- 受賞日：2月6日（月）
- プロフィール：イラン柔道連盟シニア・アドバイザー，講道館柔道黒帯
- 受賞事由：
イラン柔道連盟設立に尽力し，イラン中に柔道場が見

られるまでに柔道を普及させるに当たって功労があった。また，これまで日本柔道連盟から多くの日本人講師を招聘し，当地における柔道の普及振興に貢献している。